

“250” シリーズ・ダブルロック コネクタ

1. 製品の概要

250 シリーズ・ダブルロック・コネクタは従来の 250 シリーズ ファストン・インターロック・コネクタをダブルロック（二重係止）化したもので次のような特徴があります。

- (1) 端子の半装着を検知できる。
- (2) 従来のタブ端子、リセプタクル端子を使用する。
- (3) 従来品のコネクタと互換性がある。
(従来品のコネクタとも嵌合できる)
- (4) 外径寸法は従来品と同一である。

注) 本取扱説明書では従来品との異なるダブルロックプレートの装着方法、取外し方法を中心に説明しています。その他の取扱方法については従来製品の取扱説明書 412-5111「250 シリーズ・ハウジング・ランス・コネクタ」412-5146「250 シリーズ・ファストン・インターロック・コネクタ」を御参照下さい。

対象製品名（従来品との型番照合）

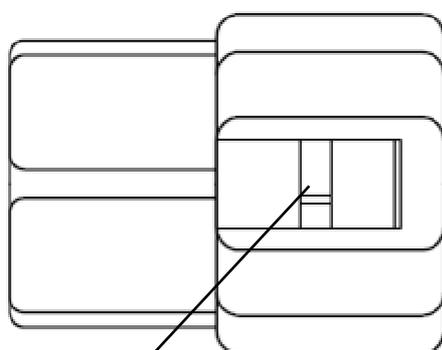
| 品名 | 従来品 Tyco 型番 | ダブルロック・コネクタ Tyco 型番 |
|---------------------|----------------|------------------------|
| 4 極 キャップ | 172133 | 178007 |
| 4 極 プラグ | 172134 | 178004 |
| 6 極 キャップ | 171897 | 178025 |
| 6 極 プラグ | 171898 | 178022 |
| 1 極 プラグ | 172128 | 176986 |
| 1 極プラグ（インターロックタイプ） | 172216 | 176989 |
| 3 極キャップ（インターロックタイプ） | 172219 | 176998 |
| 3 極プラグ（インターロックタイプ） | 172220 | 176995 |
| 4 極キャップ（インターロックタイプ） | 172221 | 178013 |
| 4 極プラグ（インターロックタイプ） | 172222 | 178010 |
| 5 極キャップ（インターロックタイプ） | 172223 | 178019 |
| 5 極プラグ（インターロックタイプ） | 172224 | 178016 |
| 7 極プラグ（インターロックタイプ） | 172226 | 178028 |
| 9 極キャップ（インターロックタイプ） | 172227 | 178034 |
| 9 極プラグ（インターロックタイプ） | 172228 | 178031 |
| 3 極キャップ（異形） | 172384 | 178001 |
| 2 極キャップ（異形） | 172383 | 176992 |
| 1 極プラグ（ホーンタイプ） | 173271 | 178471 |

2. 端子の挿入

本製品にはダブルロックプレートがあらかじめ仮係止されていますので以下の様にして端子をハウジングに挿入して下さい。

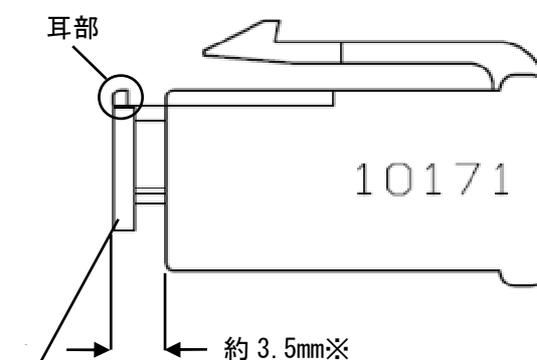
- (1) ダブルロックプレートが図の様に仮係止状態にあることを確認した後、従来品と同様にキャビティ内にまっすぐ挿入して下さい。

キャップ ハウジング



ダブルロックプレート(黄色)が
窓から見えている
(本係止状態の時は見えない)

プラグ ハウジング



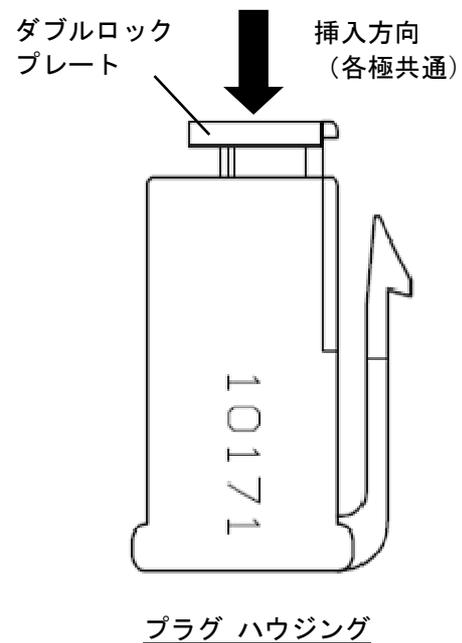
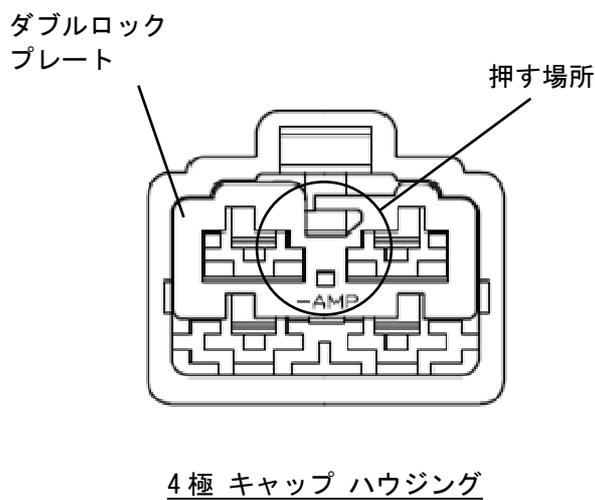
耳部
ダブルロックプレート(黄色)
(本係止状態の時は※印寸法がほぼ0となる)

- (2) ダブルロックプレートが本係止状態になっていると端子の挿入が出来ません。無理に挿入しようとすると端子を变形させたりハウジングを破損することがありますので注意して下さい。
- (3) もし本係止状態になっている時は「4. 本係止の外し方」に従い、仮係止状態にしてから端子を挿入して下さい。
- (4) 端子が完全に挿入されるとランスの引っかかる“パチン”という音がします。

3. ダブルロックプレートの本係止方法

必要なすべての回路に端子を挿入し終わったら、ダブルロックプレートを以下の様にして装着（本係止状態）にします。

- (1) キャップハウジングの場合、プレート全面を押せる様なジグを作成してまっすぐ押して下さい。
- (2) プラグハウジングの場合、下図の様にプレート全面を指等で出来るだけ均等に押して下さい。



- (3) 本係止状態になる時には“パチン”とロックのかかる音がします。
- (4) 押しても本係止にならない場合には、端子が半挿入の可能性が高いため無理に押さず端子が完全に挿入されているかどうか確認して下さい。
- (5) ダブルロックプレートを押す前に端子を曲げたり傷つけたりしない様十分に注意して下さい。
(キャップハウジングの場合)

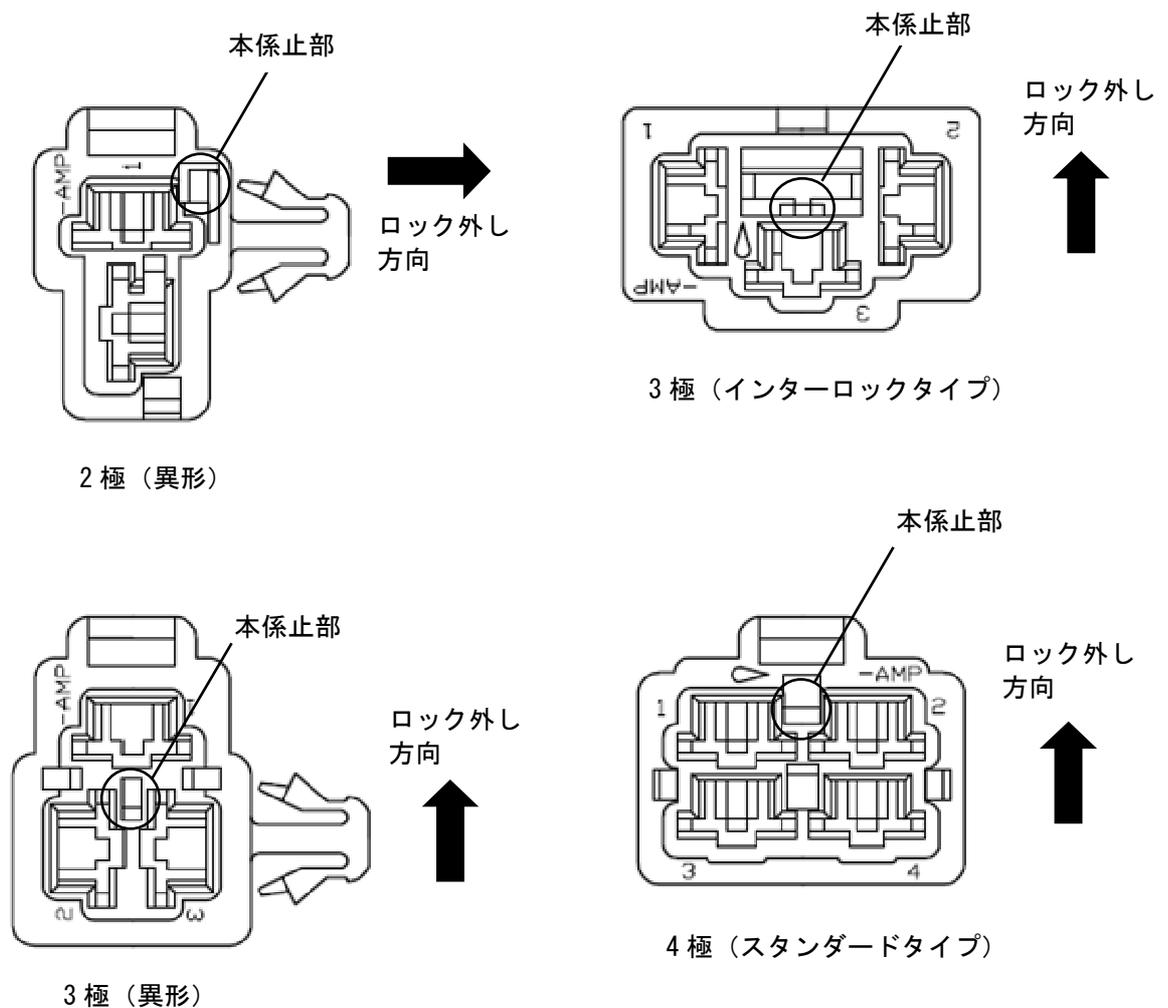
4. ダブルロックプレートの外し方（本係止を仮係止状態に戻す方法）

ハウジングへ端子を誤挿入して、ダブルロックプレートを本係止してしまってから端子を引き抜きたい時や、端子を挿入前に既にダブルロックプレートが本係止になってしまっている時には、先ずダブルロックプレートを仮係止状態に戻す必要があります。（本係止状態では端子は引き抜き出来ません）仮係止状態に戻すには、以下の方法に従って行って下さい。

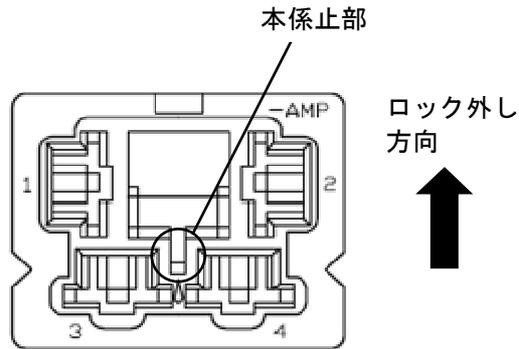
取外しには専用の工具（Tyco 型番 724713-1（タブ・コンタクト用） 724712-1（リセプタクル・コンタクト用））または 1.0mm 幅程度の精密ドライバーを用います。

キャップハウジング

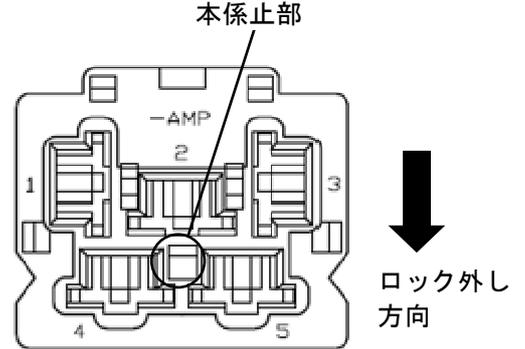
工具をハウジング背面（電線引き出し側）にある本係止ロック穴に差し込みダブルロックプレートの突起を図の矢印の方向に持ち上げロックを外し、そのままプレートを仮係止状態になるまで押し上げて下さい。



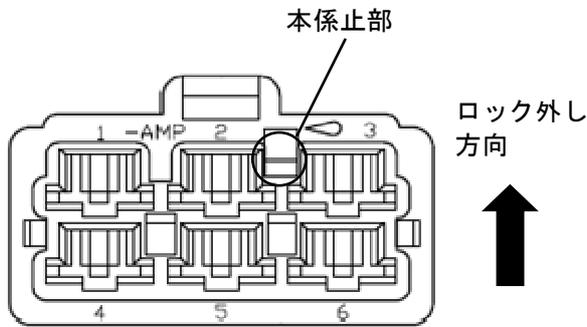
キャップハウジング



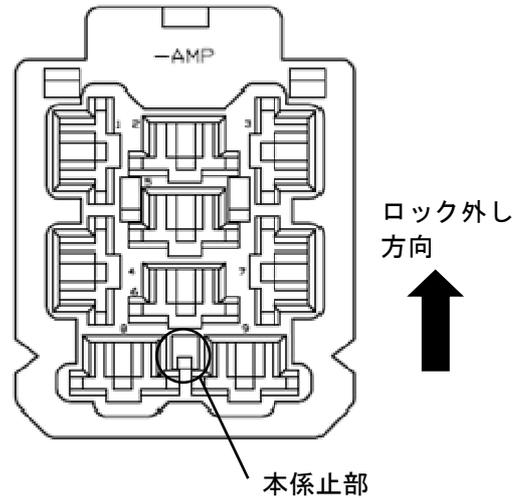
4極 (インターロックタイプ)



5極 (インターロックタイプ)



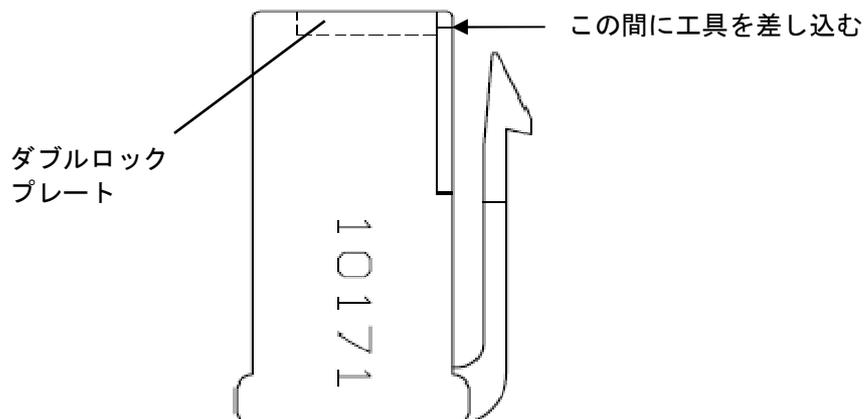
6極 (スタンダードタイプ)



9極 (インターロックタイプ)

プラグハウジング

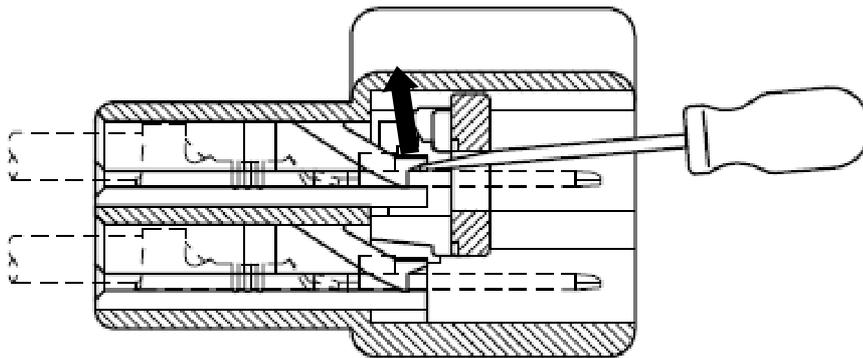
ダブルロックプレートの耳部とハウジング本体との間に工具を差し込み、そのまま上方にプレートを仮係止状態になるまで持ち上げて下さい。



5. 端子の引き抜き方法

- (1) 前項に従ってダブルロックプレートを仮係止状態にします。
- (2) 引き抜こうとする端子の電線を持って端子を奥に押し込みそのままおさえます。
- (3) 次に引抜工具を図の様にハウジングのランス先端部と端子の間に差し込み、矢印方向へランスを持ち上げて下さい。（この時、端子をてこにしてランスを持ち上げますと端子を变形させてしまいます。ドライバーは平行に移動させて下さい。）
- (4) そのままの状態電線を反対側へ引張り、端子を引き抜いて下さい。

キャップハウジング :



プラグハウジング :

